

保健指導法Ⅱ 2年生(前期) 第2回 課題

学生番号()

氏名()

第2回 情報収集: 歯科衛生アセスメントとしての情報収集について学修する。

(対象者の状態を知るための検査項目と観察方法、観察ポイントについて確認する。)

知識: 下記内容について、テキストや1年次に配布された保健指導関連、予防処置関連のプリントを参照してまとめる。

技術: 顎模型を使って各種検査方法(歯周ポケット測定、歯石探査、ミラーテクニック)に関する把持法や操作法を確認する。

以下はすべて、テキストから重要部分を抜粋しまとめてある。

①抜粋部分をテキストで探し、該当する部分にアンダーラインをしなさい

②「必要部分を抜粋しなさい」についてはテキストから必要部分を探し、アンダーラインをし、このプリントにまとめる。

③「インターネットを活用してまとめる」についてはインターネットを活用して調べた内容をこのプリントにまとめる。

1. 対象者からの情報収集

初診時、いきなり歯科治療を行うことはなく、まずは患者の不安や不満に適切に対応し、良好な関係を築いていくことを第一に考えなければならない。

1) 情報収集の目的

歯科医師が診断を行う際、現症の検査結果を補うことを目的とする。具体的には、初診時に歯科医師が診断の助けとして実施するもので、歯科衛生士は、その前段階の予診票や健康調査票の記入がスムーズに行われるよう患者とコミュニケーションを十分の取ることが求められる。問診では、主訴や来院の動機、既往歴、全身の状態、治療に対する要望などを把握する。さらに、健康調査票に記載された内容から、歯科衛生活動に関連する情報を的確に読み取ることも大切である。

2) 「情報収集の項目」について示されたテキストから、それぞれ必要部分を抜粋しなさい。(論議p78)

(1) 主訴

(2) 現病歴

主訴に関連して、 _____ である。

①

②

③

④

(3)全身の既往歴

_____のことで、歯科臨床では歯科的既往歴をとることもある。

全身的な状態は、直接歯科の主訴と関係ないこととして、_____場合がある。しかし、既往歴が現病歴に密接に関連する場合も多いので確認する必要がある。また、既往歴に伴い、服用薬剤、アレルギーの有無、輸血の有無も確認する。

①

②

③

(4)家族歴

2)医療面接(メディカルインタビュー)(論論p80)

(1)問診と医療面接の違い

①問診とは

※ 主体 - 『 _____ 』

※『 _____ 』のために必要な情報のみを収集する

※『 _____ 』に焦点を当てた質問となる

診療の参考のために_____ことで、医師、歯科医師が

_____である。気を付けて行わないと、

_____になりがちである。

②医療面接とは

※ 主体 - 『 _____ 』

※感情や考え、期待、生活習慣などについても問題にする

※医療従事者側の『 _____ 』が重要である

問診が診療の最初に行われる行為であるのに対し、医療面接とは、

_____である。

歯科医師のみならず「 _____ 」の役割が大きい。さらに「 _____ 」

なコミュニケーションであれば、患者が不満を患実ことはないが、医療従事者側の努力が必要となる。現

在では、問診は_____のが一般的である。

(2) 医療面接の3つの柱

医療面接(メディカルインタビュー)の柱

『
』
『
』
『
』

① 信頼関係の確立(ラポールの形成)

信頼関係の確立のために必要な「共感的態度」「傾聴」について、その意味や方法、効果をテキスト(論議p81)とインターネットを活用して調べなさい。

A. 共感的態度

B. ^{けいちよう}傾聴

② 情報収集

歯科衛生士が行う情報収集は、病歴以外にも多岐に渡ることが多い。歯科衛生士は、歯科医師と比べて患者と接する時間が長いので、心を開きやすく、会話する機会も多いことから、経時的に変化している情報を収集することができ、その情報を歯科医師と共有することができる。

より多くの情報を引き出したいときには、「閉ざされた質問」よりも「開かれた質問」のほうが、相手はいろいろ考えて答えようと努力するので効果的である。質問形式も反応をみながら、使い分けをしていくことが大事である。

※「開かれた質問」「閉ざされた質問」について、テキストやインターネットを活用して調べなさい。

「開かれた質問」

「閉ざされた質問」

③ 治療への動機づけ

インフォームドコンセント＝「 」

[説明]

まず、患者に自分の口腔内の状態を理解してもらう。現在の病状の説明をして、もしこのまま何もしないとどうなるのか治療するならばどのような方法があるか、治療期間の目安などを説明する。

[同意]

節目ごとに、「何か質問はありますか」「ご理解いただけましたか」など随時フィードバックを行う。

インフォームドコンセントが不十分なままたとどのような問題が起きるかテキストから抜粋しなさい。

(論論p82)

2. 次回相互実習に向けて以下の点について、テキスト(歯科予防処置論・歯科保健指導論、歯周組織検査パーフェクトブック、歯科矯正)と1年次に予防処置関連実習、保健指導関連実習で配布されたプリントを参考にしてまとめなさい。

※すべて、箇条書きでまとめること

1)口腔内診査

(1)現在歯

①何をみるのか

②何がわかるのか

(2)歯の位置異常

①何をみるのか

②何がわかるのか

(3)咬合異常

①何をみるのか

②何がわかるのか

2)歯周組織検査

(1)PDとBOP

①使用する器具

②把持方法

③操作方法

(2)歯石の探査の手順と注意点

①使用する器具(1つとは限らない)

②把持方法

③操作方法

3)歯垢染色とプラークチャート作成、PCRの算出方法

(1)綿球法による歯垢染色

①準備物と手順

②歯垢染色の際の注意点

(2)PCR(プラークコントロールレコード)

①対象歯

②判定基準

③計算方法

④注意点

この写真からわかることを見つけて、その部分を○で囲み→をつけてその症状を書きなさい。

部位を歯式で示し、かつその部分を○で囲み、何があるかを明記する

今まで学修したことを思い出しながら考えること。(テキスト: 論論、パーフェクトブックなど参照する)

写真① [正面観]

1. 歯の位置異常(下顎)

2. 歯肉

1) 形態

① スティップリング

② フェストウーン

③ その他



写真② [下顎舌側面観]

2) 色調

3) 性状



3. 付着物・沈着物

1) プラーク

2) 歯石(縁上 or 縁下)

4. ブラッシング状況の確認

1) 3枚の写真すべてから、ブラッシングが不十分な部位をすべて見つける

2) それぞれの部位について、なぜブラッシングが不十分になるのかその理由を考察する

写真③ [正面観 歯垢染色後]

